

和歌山県名匠

ど い さだ た ろう 土井 定太郎

職 歴

大正2年15才で橋本市谷上家の弟子入門以来、檜皮葺を家業としてきた。

業績の概要

大正2年檜皮葺の道に入り今日まで60有余年、50数社寺の屋根の修復監督に専念されている。

最近、氏がてがけた社寺には、京都府の相楽さげな神社があり、そのほか御霊神社、天満宮、東本願寺の勅使門、京都御所の学問所、稲植いなう神社、奈良県生駒神社などがある。本県では、橋本市の天満神社、和歌山市の上小倉神社、橈取本山総持寺のほか、国の文化財であるかつらぎ町の宝来山神社の修復をされている。

氏は、檜皮葺でも唐破風などの重要部分を担当し、特に優美さが要求されるその伝統を守ってきた。

また、その豊富な知識と経験を生かし、後進の指導育成にも努められるなど、文化財保護に貢献された功績は極めて大きいものがあります。



職 種 檜皮葺師